

2 エネルギーに関する基本的な考え方（自由記述。300 字程度）

No	name	回答
1	浅利和宏（無所属・新）	段階的に原発は減らすべきであると思う。しかしながらイランへの経済制裁や、欧米での金融不安による原油の高騰など、経済の動向を伺うのが現実的であると思う。
2	佐藤弘子（日本共産党・現）	日本は電力需要も、温室効果ガス対策も、原発に頼り続けてきたことが問題です。この5年間、原子力対策に2兆円以上の税金がつぎ込まれました。一方自然エネルギーには6500億円にも達していません。日本の潜在的な自然エネルギーは20億キロワット以上といわれ、原発54基の40倍です。各地方自治体の地形の優位性を生かして、太陽光、中小水力、地熱、風力などによる発電の実用技術に取り組むべきです。
3	中田孝太郎（無所属・現）	無回答
4	高梨恭子（無所属・現）	人間が生きるためにはエネルギーが必要。安全かつ継続的にエネルギーを利用できる仕組みが求められている。
5	寺田文彦（無所属・新）	無回答
6	又未成人（無所属・現）	無回答
7	川名敏子（公明党・現）	原子力発電を過渡的なエネルギーと位置づけています。原発への過度な依存を早期に脱却し、再生可能な自然エネルギーに移行する政策が必要と考える。
8	中山秀（無所属・新）	無回答
9	末村英一郎（みんなの党・新）	電力市場の規制改革、自由化、発送電分離を段階的に実施。研究開発投資の促進により、新エネルギー、省エネ技術の開発に努めるべき。
10	長谷川信市（無所属・新）	無回答
11	高橋典久（無・現）	無回答
12	布川隆史（無所属・新）	無回答
13	浅川利夫（無所属・現）	無回答
14	仲雅嗣（無所属・新）	無回答
15	鈴木榮（無所属・現）	無回答
16	平野寿朗（無所属・現）	無回答
17	古谷一成（無所属・新）	産業革命以降、我々は内燃機関に頼り過ぎてきたことを深く反省すべきである。 元々、内燃機関のエネルギー変換効率は3割位でしかなく、大半は熱と二酸化炭素として放出してしまう。 地球環境を悪化させる元凶であることをしっかり認識しておかなければならない。新興工業国の経済発展等も併せ、ますます地球環境破壊を進行させる恐れがあり、速やかなるクリーンエネルギー転換政策を地球規模で展開させる必要がる。
18	新宮栄二（無所属・新）	
19	唐木田幸司（無所属・現）	無回答
20	尾崎靖男（無所属・現）	無回答
21	木村文明（無所属・新）	脱化石燃料および自然界に存在しないプルトニウムを作り出しエネルギーに変えていく原子力政策はやめるべき。「20世紀は破壊の時代」「21世紀は守る時代」と考える。その根本はエネルギー問題である。解決を図るには自然エネルギー推進が急務である。
22	梅木伸治（無所属・現）	無回答
23	山田みえ子（日本共産党・新）	日本は自然エネルギーに富んだ国です。現在の技術水準や社会的制約を考慮しても実際のエネルギーとなる資源量（エネルギー導入ポテンシャル）は太陽光、中小水力、地熱、風力だけで20億キロワット以上といわれています。これは日本における発電供給能力の10倍です。原発の40倍です。太陽電池パネルを公共施設、工場、学校、耕作放棄地などに設置することで自然エネルギーの実用化が可能です。原発ゼロをめざし、再生可能な自然エネルギーへの転換を進めるべきです。
24	市川和代（公明党・現）	原子力発電を過渡的なエネルギーと位置づけている。原発への過度な依存を早期に脱却し、再生可能な自然エネルギーに移行する政策が必要と考える。
25	高木和志（公明党・現）	原子力発電を過渡的なエネルギーと位置づけています。原発への過度な依存を早期に脱却し、再生可能な自然エネルギーに移行する政策が必要と考える。
26	青木公達（無所属・新）	今回の福島第1原子力発電所事故で（事故後の対応も含めて）人間のコントロールが及ばない事象が起きたことは明白であるから、原子力以外の、特に自然エネルギーへの転換を考えるのは自然の方向性である。

2 エネルギーに関する基本的な考え方（自由記述。300 字程度）

No	name	回答	
27	松丸修久（無所属・現）	無回答	
28	松見正孝（新党もりや・新）		「今回の回答を保留し、選挙後、当選する、しないに関わらず、回答いたします」
29	西川仁洋（無所属・新）	無回答	
30	伯耆田富夫（無所属・現）	無回答	
31	山崎裕子（無所属・現）		廃炉までのコストがかかることや事故があったときには制御不能であることが今回の事故で判明したので、自然エネルギーへの転換を計画的に行うべきと考える。
32	関口有美重（みんなの党・新）		<ul style="list-style-type: none"> ■ 電力自由化、発送電分離を段階的に実施する。 ・ 電力市場・規制改革・東西の交流電力周波数の統一 ・ 電源三法交付金の抜本見直しなど。 ■ 新エネルギー、省エネに係る技術開発、実用化促進（研究開発費の促進など）
33	酒井弘仁（民主党・現）	無回答	
34	渡辺秀一（無所属・新）	無回答	
35	高梨隆（無所属・新）	無回答	
36	佐藤剛史（みんなの党・新）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力の自由化、発送電分離を段階的に実施する。（電力市場・規制改革、東西の交流電力周波数の統一、電源三法交付金の抜本見直しなど） ・ 新エネルギー、省エネルギーに係る技術開発・実用化促進